

スーパーマーケット販売統計調査資料

2014年11月実績 速報版
10月実績 確報版(パネル285)

(2014年12月22日公表)

調査資料概要

【パネル285】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象として同一285社を集計
※2014年4月実績よりパネル対象企業変更(306社→285社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1㎡あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタペーカーリー、ファーストフード	
		日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム	
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

2014年12月22日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年11月実績 速報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	79,864,877	100.0%	102.5%	100.7%
食品合計	69,819,225	87.4%	103.2%	101.2%
生鮮3部門合計	26,066,992	32.6%	103.3%	101.1%
青果	9,721,341	12.2%	96.3%	94.4%
水産	7,115,893	8.9%	105.3%	103.3%
畜産	9,229,759	11.6%	109.9%	107.3%
惣菜	7,447,618	9.3%	106.3%	103.6%
日配	15,286,526	19.1%	102.5%	100.6%
一般食品	21,018,088	26.3%	102.6%	100.8%
非食品	7,122,671	8.9%	97.5%	96.9%
その他	2,922,981	3.7%	99.3%	99.3%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,377,168	48	102.9%	100.2%
関東地方	28,659,279	73	104.6%	102.4%
中部地方	9,735,183	57	103.6%	101.7%
近畿地方	17,668,108	43	99.9%	98.1%
中国・四国地方	7,166,344	39	100.1%	99.9%
九州・沖縄地方	4,258,795	25	101.1%	100.4%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	829,776	53	97.3%	98.5%
4~10店舗	3,523,221	72	101.8%	101.2%
11~25店舗	10,407,287	70	101.1%	100.0%
26~50店舗	13,912,713	43	102.5%	100.4%
51店舗以上	51,191,880	41	102.9%	100.9%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	77,090,272	
総店舗数 (店舗)	7,310	店舗平均月商 (万円)	10,925	
総売場面積 (㎡)	11,998,528	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.7	

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2014年12月22日

日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2014年10月実績 確報版 (パネル285)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	81,480,699	100.0%	102.6%	100.7%
食品合計	71,832,063	88.2%	103.3%	101.1%
生鮮3部門合計	27,249,937	33.4%	104.8%	102.5%
青果	10,926,339	13.4%	100.7%	98.6%
水産	7,144,921	8.8%	104.8%	102.5%
畜産	9,178,677	11.3%	110.2%	107.6%
惣菜	7,605,243	9.3%	106.1%	103.4%
日配	15,727,918	19.3%	101.9%	99.9%
一般食品	21,248,964	26.1%	101.4%	99.5%
非食品	6,611,795	8.1%	98.1%	97.6%
その他	3,036,842	3.7%	98.3%	98.4%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,676,609	48	101.2%	98.5%
関東地方	29,266,733	73	104.6%	102.6%
中部地方	9,906,539	57	103.0%	101.4%
近畿地方	17,741,251	43	101.2%	99.5%
中国・四国地方	7,432,006	39	101.4%	99.5%
九州・沖縄地方	4,457,560	25	101.4%	100.1%

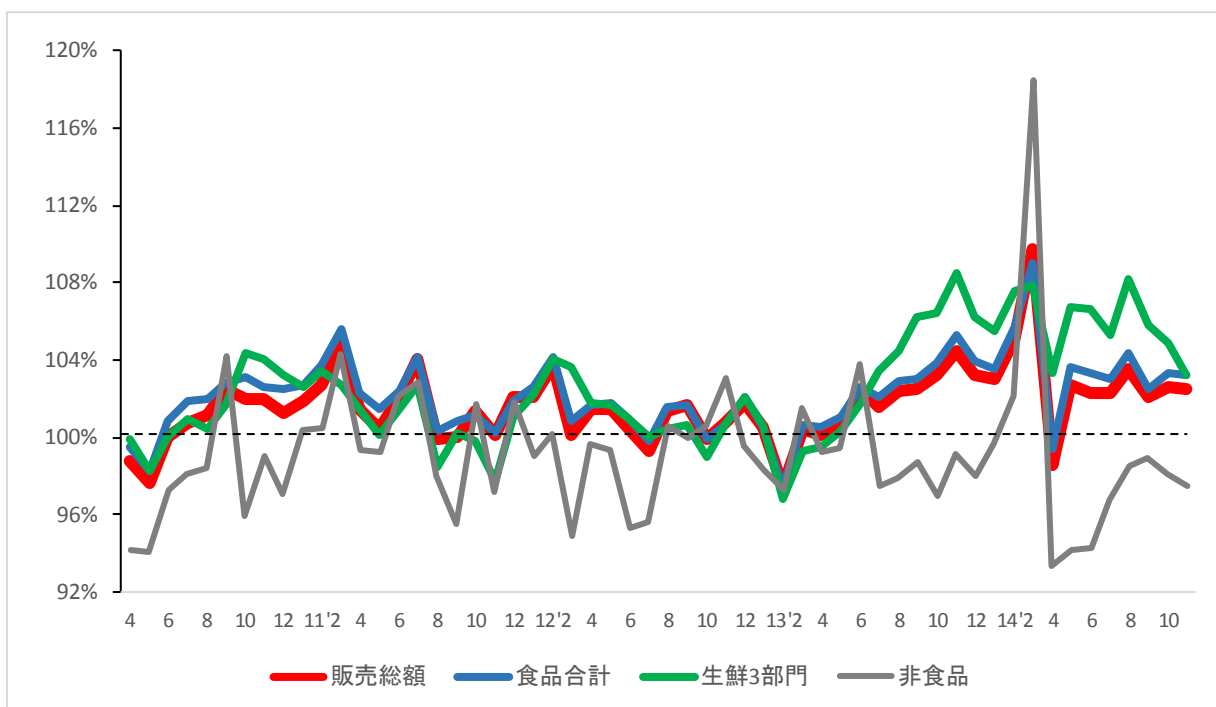
保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	866,454	53	100.2%	100.3%
4~10店舗	3,796,808	75	101.6%	101.0%
11~25店舗	11,003,501	73	100.9%	100.2%
26~50店舗	14,237,500	43	102.5%	100.4%
51店舗以上	51,576,437	41	103.1%	100.9%
集計企業数 (社)	285	既存店総売上高 (万円)	78,654,995	
総店舗数 (店舗)	7,348	店舗平均月商 (万円)	11,089	
総売場面積 (㎡)	12,024,047	売場1㎡あたり売上高 (万円)	6.8	

※売上高は税抜金額

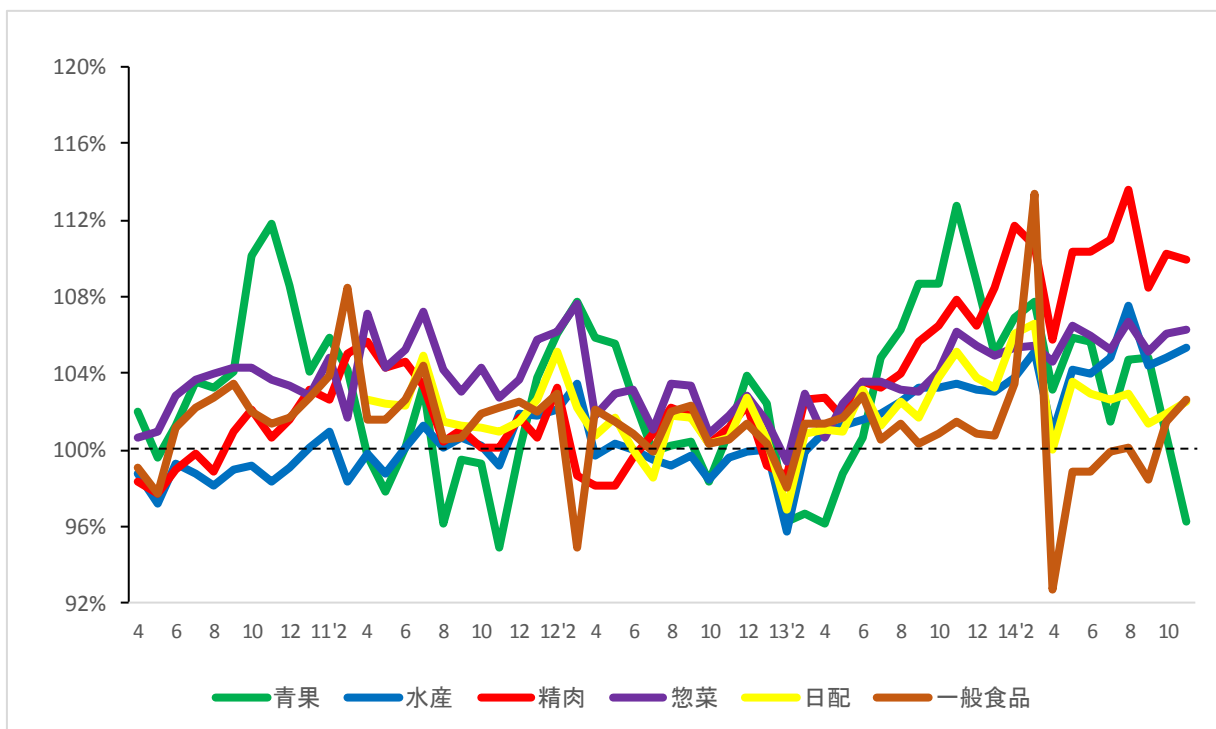
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年11月(全店ベース対前年同月比)
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



※2010年4月～2014年10月までは確報版による前年同月比、2014年11月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「非食品」に「その他」を含む

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2014年11月(全店ベース対前年同月比)
青果・水産・畜産・惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2014年10月までは確報版による前年同月比、2014年11月は速報版による前年同月比
※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」を含む

2014年11月エリア別気候状況

①平均気温

2014年11月(平年との比較)

上旬は東日本を中心にやや高く、中旬は全国的にやや低く、下旬は全国的に高い気温となった

前年同月(2013年11月)と比較

上旬と中旬はほぼ前年と変わらない気温であったが、下旬は北海道地方を除いてかなり高い気温であった

	平年との比較(°C)								
	2014年11月			2013年11月(前年)			今年と前年との差(°C)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	1.9	-0.6	2.2	1.4	0.0	2.1	0.5	-0.6	0.1
東北地方	1.1	-1.0	2.1	0.7	-1.7	0.8	0.4	0.7	1.3
関東甲信地方	1.6	-0.7	2.3	0.9	-1.7	0.1	0.7	1.0	2.2
北陸地方	0.4	-1.4	3.1	1.0	-2.1	-0.3	-0.6	0.7	3.4
東海地方	1.5	-1.0	2.3	1.0	-1.9	-1.1	0.5	0.9	3.4
近畿地方	0.7	-1.3	2.9	1.1	-1.7	-0.8	-0.4	0.4	3.7
中国地方	0.4	-1.3	3.0	1.4	-1.6	-1.2	-1.0	0.3	4.2
四国地方	0.6	-1.4	3.1	1.4	-1.7	-1.5	-0.8	0.3	4.6
九州北部	0.3	-1.5	3.3	1.6	-2.0	-1.7	-1.3	0.5	5.0
九州南部・奄美地方	0.6	-1.5	2.9	1.2	-1.9	-2.1	-0.6	0.4	5.0

平年差



前年差



②日照時間

2014年11月(平年との比較)

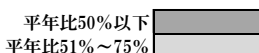
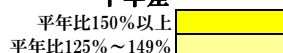
下旬に北海道と北陸地方で長くなったほかは平年並みの日照時間となった

前年同月(2013年11月)と比較

下旬に北海道と北陸地方で長くなったほかは平年並みの日照時間となった

	日照時間 平年比(%)								
	2014年11月			2013年11月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	99	110	147	104	113	85	-5	-3	62
東北地方	100	92	117	114	110	84	-14	-18	33
関東甲信地方	79	116	87	85	132	132	-6	-16	-45
北陸地方	90	97	133	114	99	78	-24	-2	55
東海地方	82	108	98	87	119	124	-5	-11	-26
近畿地方	74	115	119	91	120	127	-17	-5	-8
中国地方	93	106	114	102	105	110	-9	1	4
四国地方	80	120	106	86	115	114	-6	5	-8
九州北部	96	107	89	93	91	91	3	16	-2
九州南部・奄美地方	81	111	91	92	107	134	-11	4	-43

平年差



前年差



③降水量

2014年11月(平年との比較)

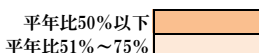
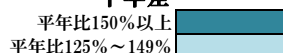
中旬は全国的に少なく、下旬は北海道を除き、多い降水量となった

前年同月(2013年11月)と比較

中旬は全国的に少なく、下旬は北海道と北陸地方で少なく、他の地域で多い降水量となった

	降水量 平年比(%)								
	2014年11月			2013年11月(前年)			今年と前年との差(%)		
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
北海道地方	111	63	30	164	92	147	-53	-29	-117
東北地方	67	56	123	81	66	107	-14	-10	16
関東甲信地方	69	22	205	89	21	34	-20	1	171
北陸地方	91	101	79	120	192	162	-29	-91	-83
東海地方	114	17	150	109	46	74	5	-29	76
近畿地方	106	8	150	104	75	83	2	-67	67
中国地方	121	18	190	107	115	83	14	-97	107
四国地方	100	7	176	55	63	130	45	-56	46
九州北部	106	8	246	185	57	132	-79	-49	114
九州南部・奄美地方	136	23	175	108	53	98	28	-30	77

平年差



前年差



気象庁ホームページより引用

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均
スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2014年12月調査結果(11月実績)

(12月22日公表)

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況:「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」

スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ① 前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で調査
- ② 前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より調査開始

2.カテゴリー動向:「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」

スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ① 前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で調査 ※2014年4月実績より調査開始
- ② 各カテゴリーの好不調要因についてのコメント ※2014年4月実績より調査開始

経営動向調査 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1.景況感:「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ① 2~3か月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査
- ② 今後2~3か月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で調査

景況感 DI(Diffusion Index)の算出方法

回答構成比(%)に、以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0.0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ
tokei@super.or.jp

12月調査（11月実績）結果概況

景気判断DIは現状・見通し判断共に3ヵ月連続で下落

11月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-1.7の42.6、見通し判断前月から-1.5の39.8と共に下落し、小幅ながら9月から3ヵ月連続の下落となった。

経営動向調査結果では、売上高DIが-4.0（前月比-1.7）、収益DIは0.4（前月比-3.0）となり共に前月よりやや下降した。青果相場の大幅な下落により生鮮仕入原価DIが下降し、販売価格や客単価DIが下降したことの影響が大きい。来客数は依然として改善の動きをみせていない。

カテゴリ動向結果では、青果DIが相場安により-20.8（前月比-12.2）と大きく下落した。畜産DIは引き続き19.8（前月比-1.2）と引き続き好調であり、水産DIも6.8と好調を維持している。惣菜はプラスを維持し、日配は前月と変わらず、一般食品は緩やかに回復して-8.0（前月比+3.0）とやや持ち直しをみせている。

11月は前年に比べて、3連休が2回と休日が一回多くなったが、景況感調査では現状判断、見通し判断ともに小幅ながらすべてのDIが前月より悪化している。消費税率引き上げ以後のゆるやかな回復傾向は上昇力を失っており、景況感には悲観的な見通しが増加している。12月はスーパーマーケットにとって重要な月であり、その動向に注目したい。

景況感調査

現状判断			
景気判断DI 当月：42.6 (-1.7) 前月：44.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：44.3 (-1.5) 前月：45.8	消費者購買意欲DI 当月：42.8 (-1.7) 前月：44.5	周辺地域 競合状況DI 当月：41.0 (-1.2) 前月：42.2
見通し判断			
景気判断DI 当月：39.8 (-1.5) 前月：41.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：43.2 (-2.2) 前月：45.4	消費者購買意欲DI 当月：41.5 (-1.8) 前月：43.3	周辺地域 競合状況DI 当月：38.9 (-0.6) 前月：39.5

経営動向調査

経営状況	
売上高DI 当月：-4.0 (-1.7) 前月：-2.3	収益DI 当月：0.4 (-3.0) 前月：3.4
販売価格DI 当月：5.9 (-1.8) 前月：7.7	客単価DI 当月：3.3 (-3.0) 前月：6.3
来客数DI 当月：-11.2 (+0.5) 前月：-11.7	生鮮仕入原価DI 当月：5.7 (-4.8) 前月：10.5
	食品仕入原価DI 当月：10.6 (+0.6) 前月：10.0

カテゴリ動向			
青果DI 当月：-20.8 (-12.2) 前月：-8.6	水産DI 当月：6.3 (+0.6) 前月：5.7	畜産DI 当月：19.8 (-1.2) 前月：21.0	
惣菜DI 当月：7.2 (-2.3) 前月：9.5	日配DI 当月：-5.3 (-0.2) 前月：-5.1	一般食品DI 当月：-8.0 (+3.0) 前月：-11.0	非食品DI 当月：-13.9 (+0.9) 前月：-14.8

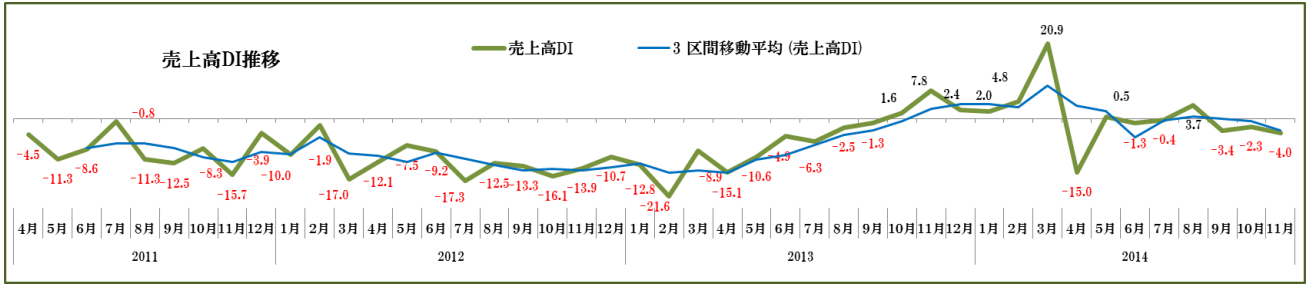
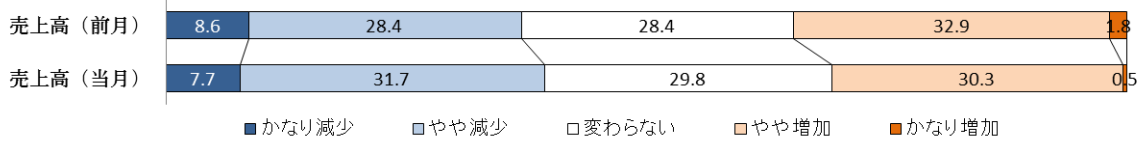
() 内は前月DIとの増減（赤字はDI減少）

12月調査（11月実績）結果詳細

1. 経営動向調査

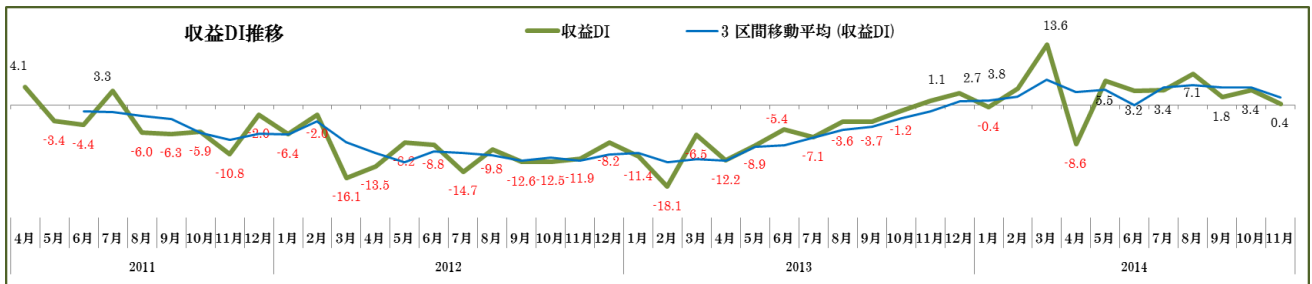
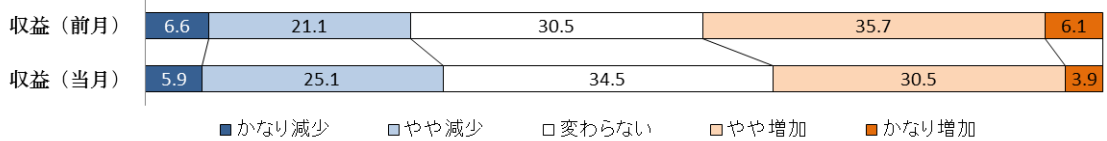
①売上高 DI

3ヵ月連続のマイナスで下降トレンド



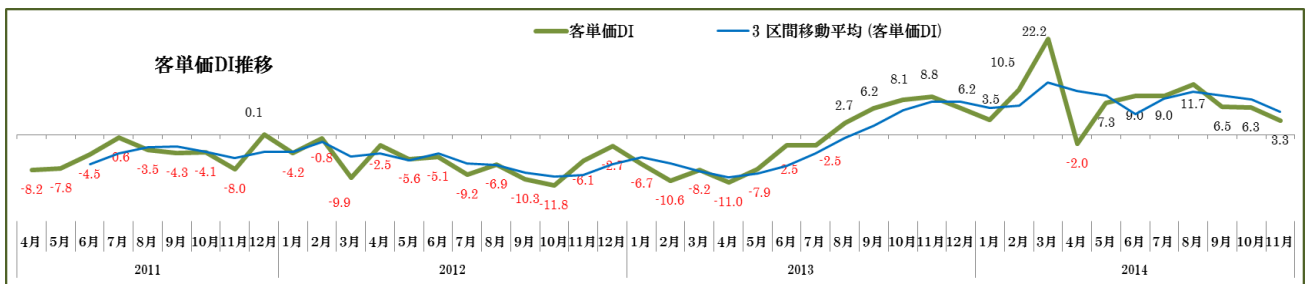
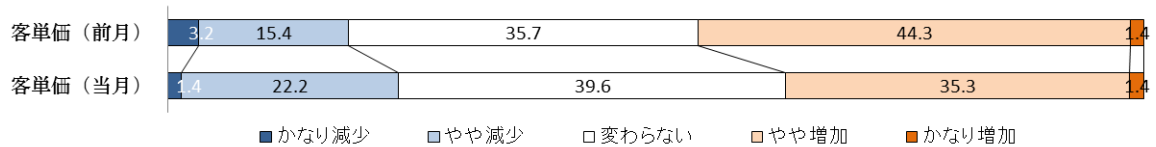
②収益 DI

7ヵ月連続でプラスを維持も直近は弱含み傾向



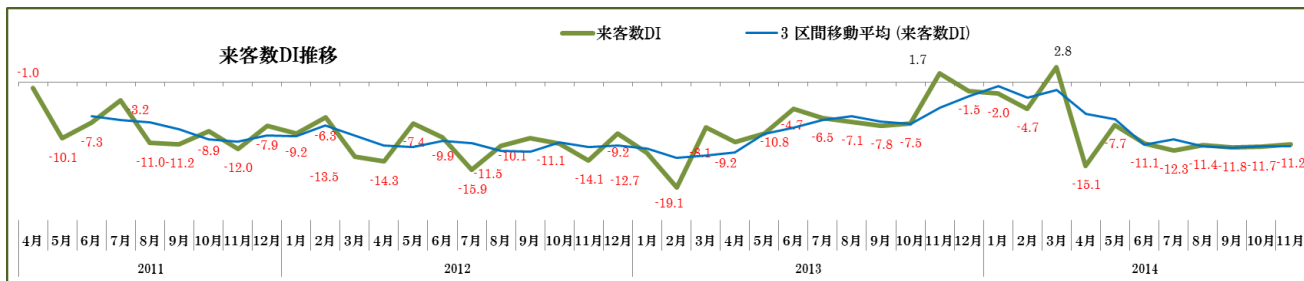
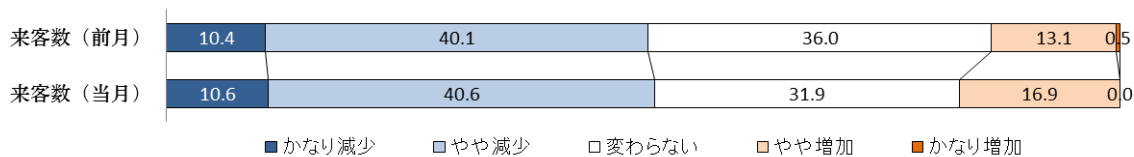
③客単価 DI

7ヵ月連続でプラスを維持も直近は弱含み傾向



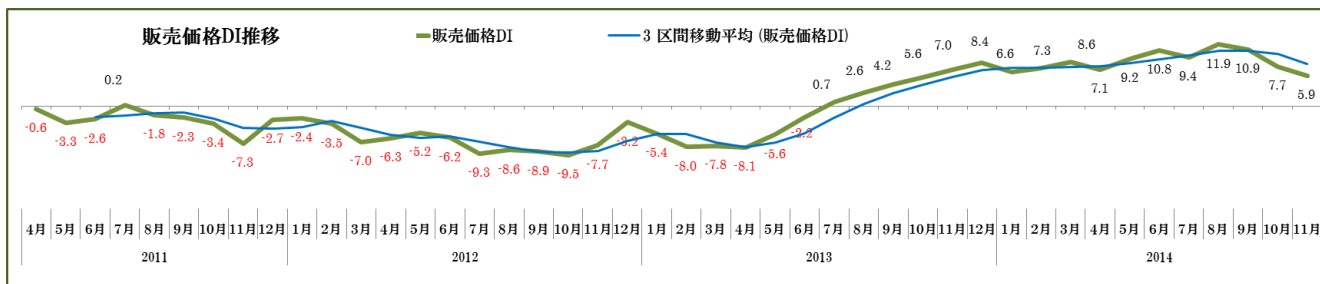
④来客数 DI

6ヵ月連続で二桁のマイナスが続く



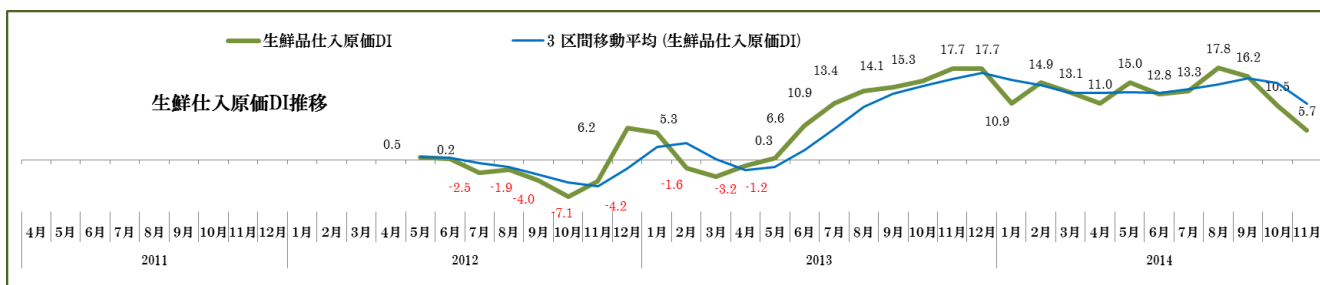
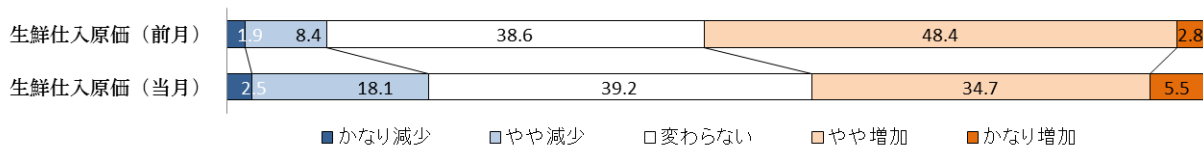
⑤販売価格 DI

8月をピークに下降トレンド



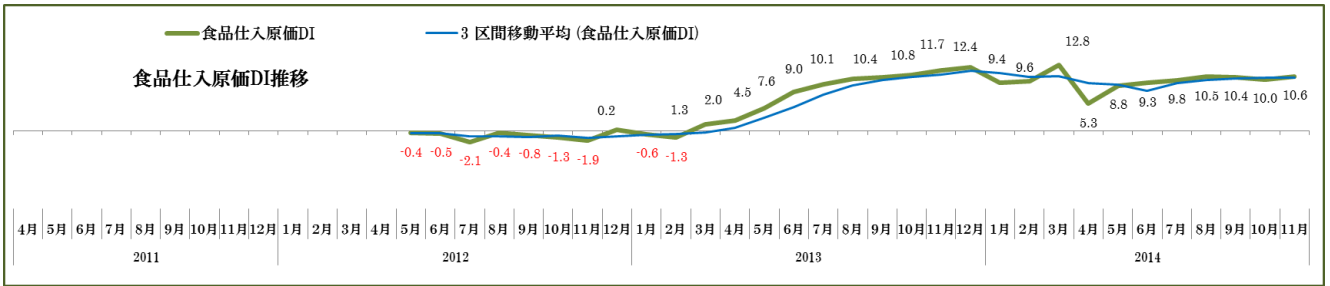
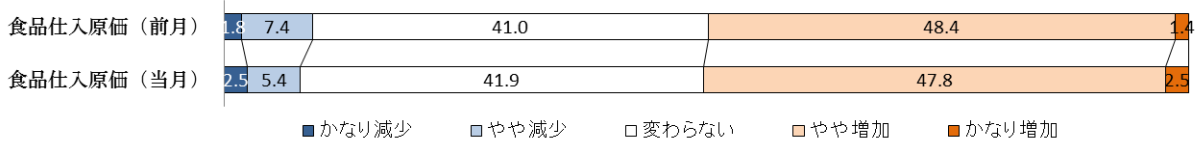
⑥生鮮仕入原価 DI

8月をピークに下降トレンド



⑦食品仕入原価 DI

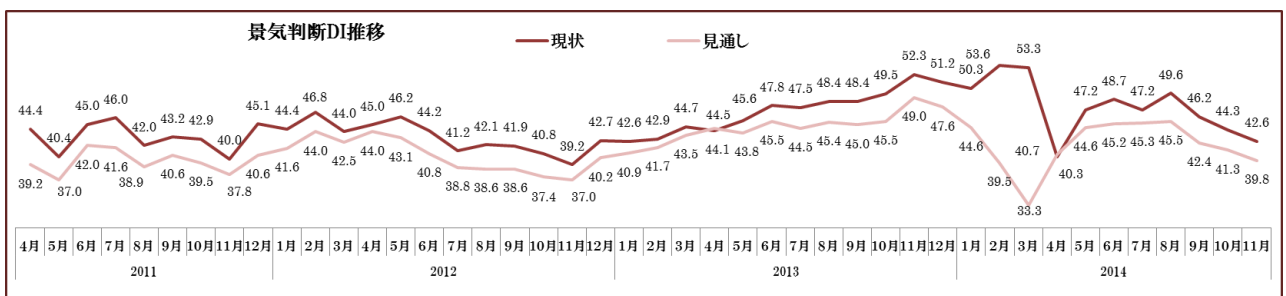
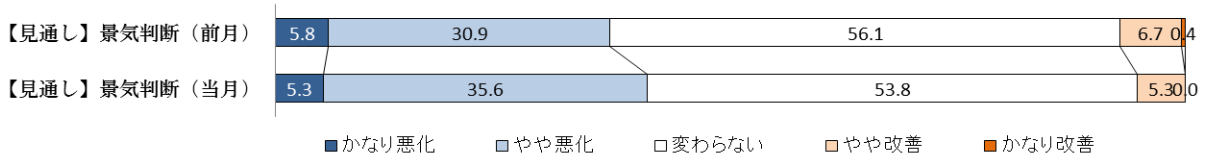
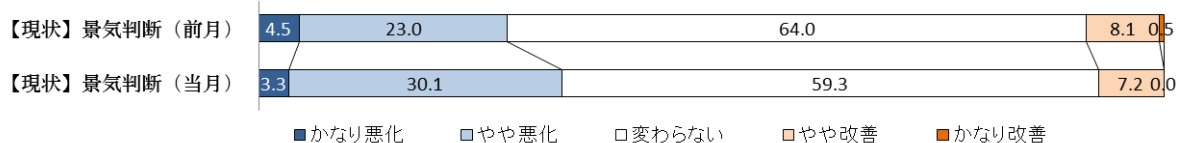
高水準で横ばい推移が継続



2. 景況感調査

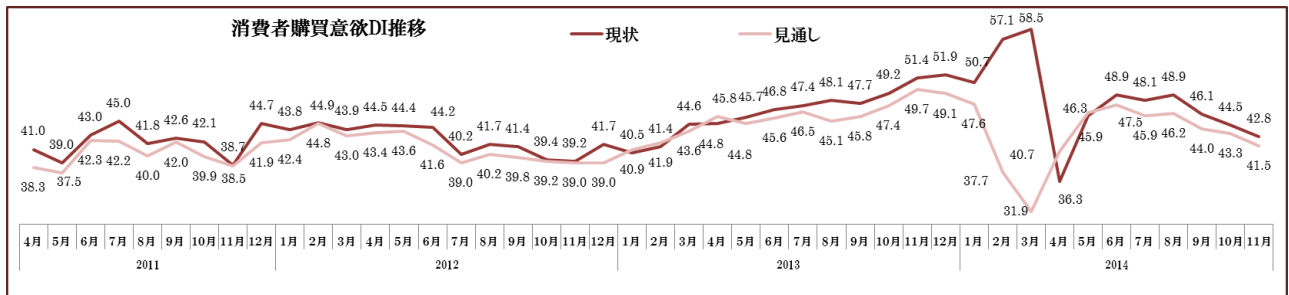
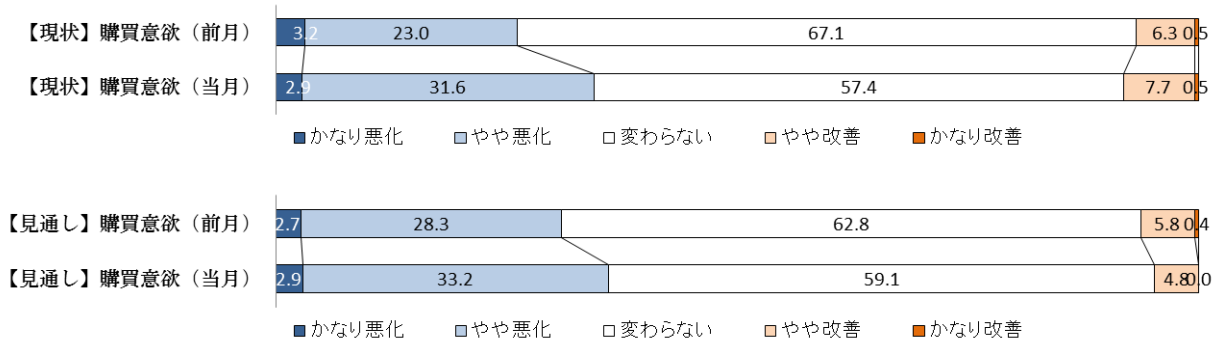
①景気判断 DI

現状、見通し共に3ヵ月連続の下降でやや弱含み



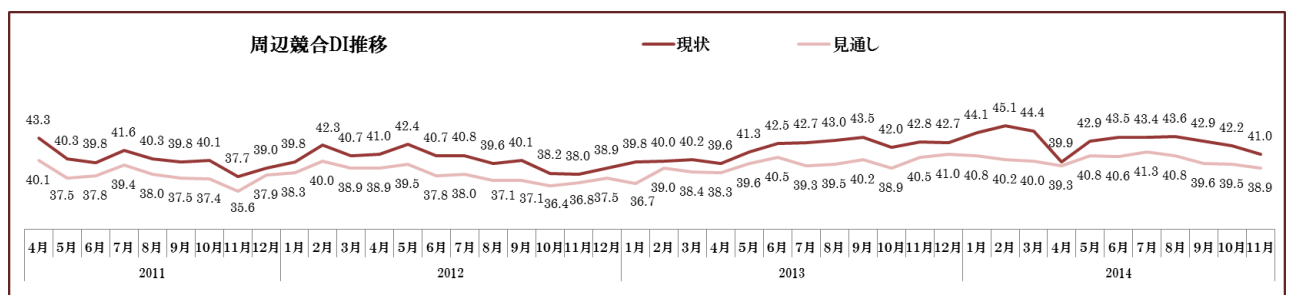
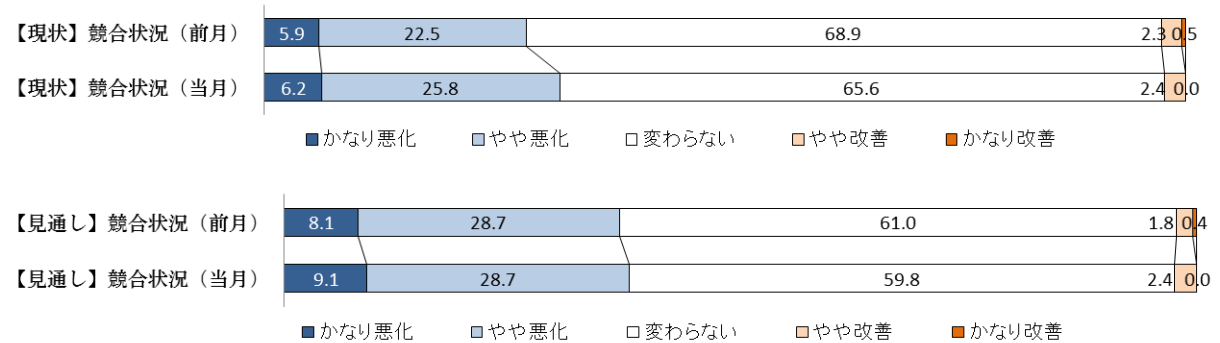
②消費者購買意欲 DI

現状、見通し共に3ヵ月連続の下降でやや弱含み



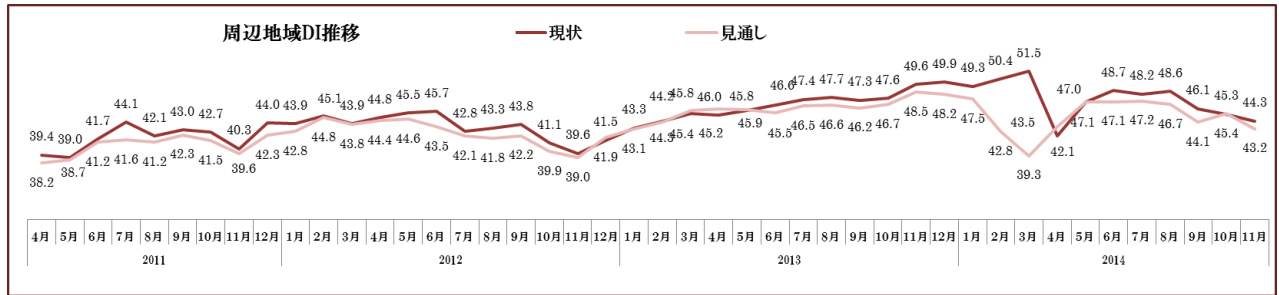
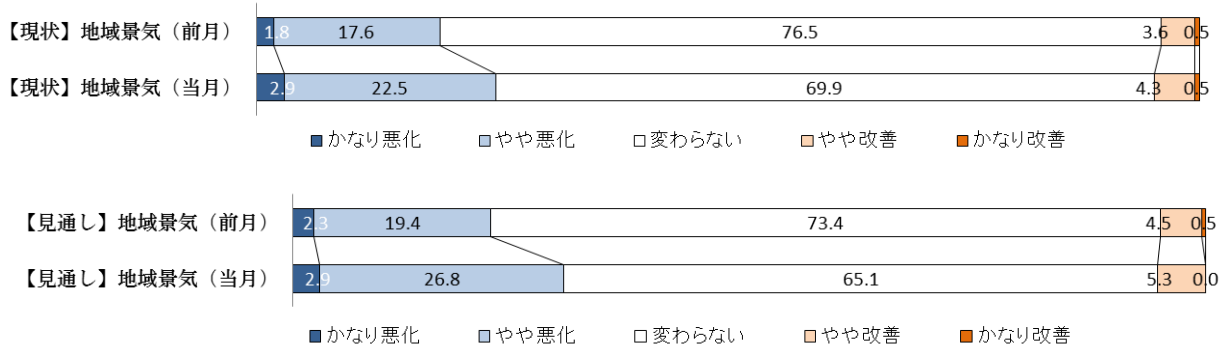
③周辺競合状況 DI

引き続き横ばい傾向が続き、改善の動きは見られず



④周辺地域景気判断 DI

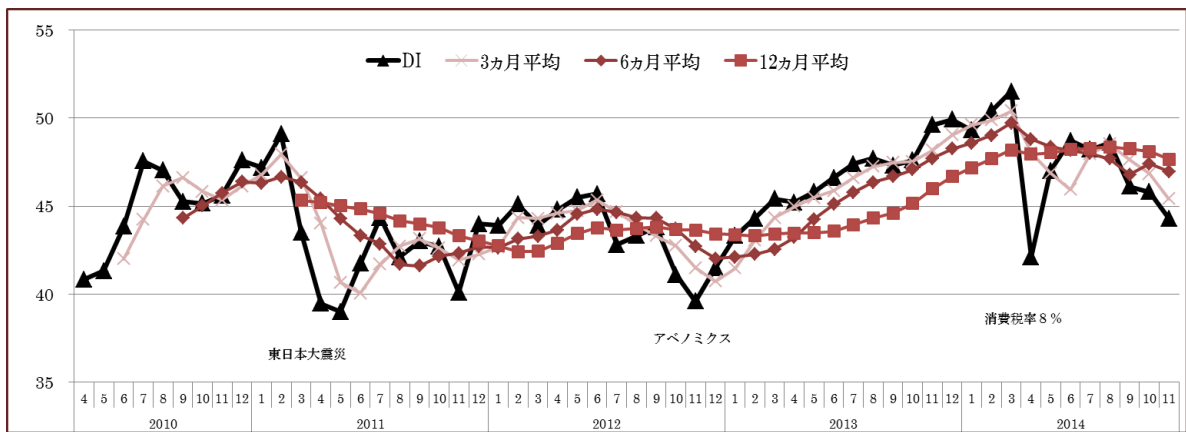
現状判断、見通し判断ともやや弱含みで推移



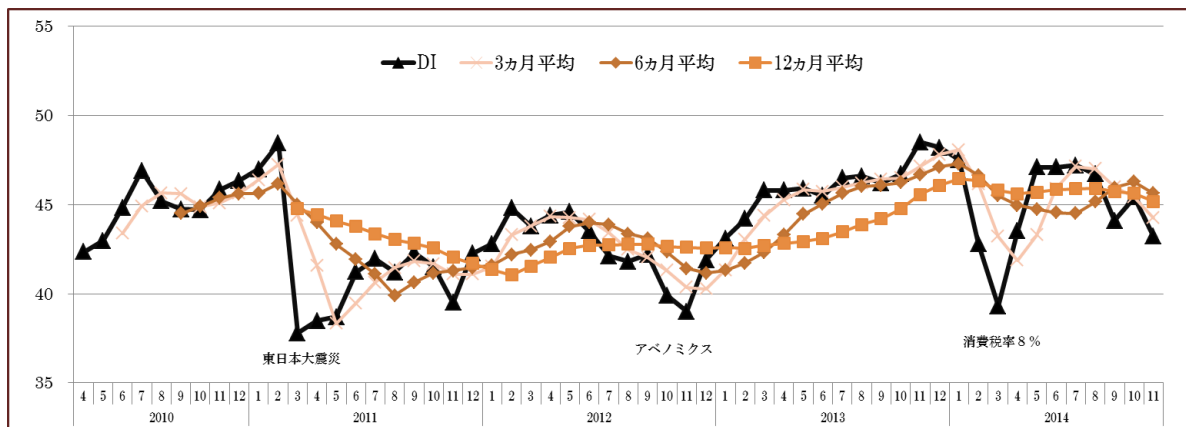
長期傾向（周辺地域景気判断 DI）

現状判断 DI は、消費税率引き上げの影響を受け下落し、その後6月～8月は横ばい推移、9月～12月まで連続で下降したため、すべての平均線が下降方向に推移となった。また単月、3ヵ月、6ヵ月いずれも12ヵ月平均線を下回る推移が続いており、下降トレンド入りしている。見通し判断 DI も同様の傾向であり下降トレンド入りしているとみられる。

現状判断（中長期傾向）



見通し判断（中長期傾向）



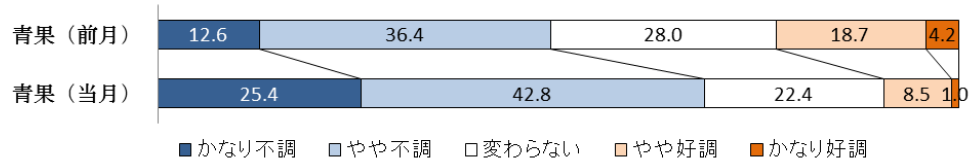
3.カテゴリー別動向

DIによる好不調判断

かなり好調:20 以上 **好調**:10~20 **やや好調**:0~10
かなり不調:-20 以下 **不調**:-20~-10 **やや不調**:-10~0

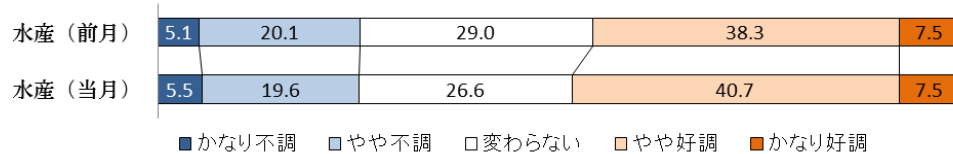
【青果】かなり不調 DI:-20.8

青果相場の大幅な相場安に加え、果物相場も相場安も重なったことで単価が下落し、数量が伸びなかったことでかなり不調となった。その他、みかんの不調を指摘するコメントが多くみられた。



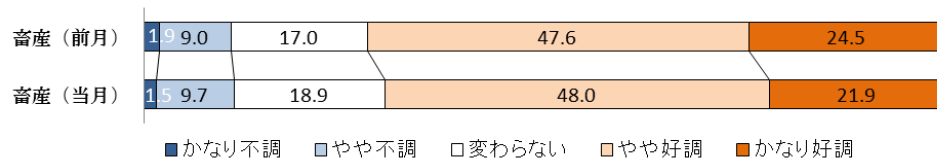
【水産】やや好調 DI:6.2

相場高を追い風に、売上構成比の高いマグロなどが好調とのコメントが多く、やや好調となったさんまやブリなどの鮮魚が好調、塩干やすり身の不調を指摘するコメントがみられた。



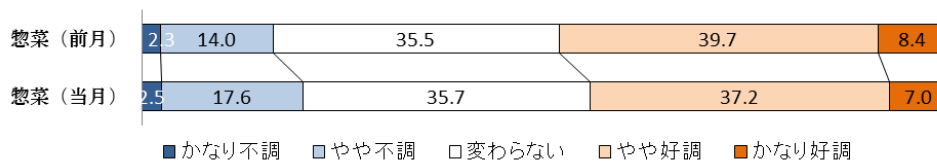
【畜産】好調 DI:19.8

牛豚鶏肉の相場高に加え、前年より日曜日が多いことで内食需要（ステーキやすき焼き、鍋物）が高まり国産牛肉や豚肉が好調とのコメントが多く、かなり好調となった。



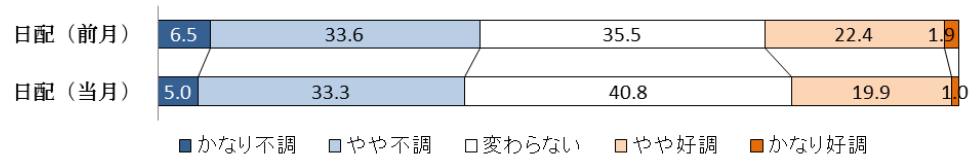
【惣菜】やや好調 DI:7.2

祝日、三連休、七五三の需要によりやや好調となった。気温が上昇したことで寿司が好調とのコメントが多くみられた。一方で客数の伸び悩みや競争により伸び悩んだとのコメントもみられた。



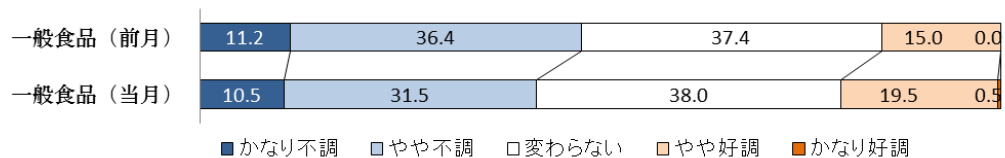
【日配】 **やや不調** DI: **-5.3**

ボジョレースーパー解禁の影響で乳製品が好調、またヨーグルト類が好調とのコメントが多く寄せられた。地域の気温により鍋商材の好不調、パン類の好不調は分かれているほか、品薄のバター類についても好調と不調のコメントに分かれた。



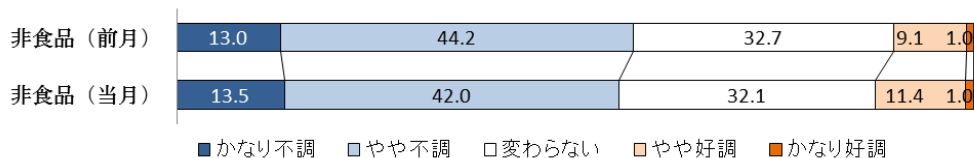
【一般食品】 **やや不調** DI: **-8.0**

酒類が好調や米の単価下落による苦戦の指摘が多かった。その他の一般食品は地域の気温により好不調があるものの、全体的にはゆるやかな回復を指摘するコメントが多かった。一方で競合により価格競争により利益の確保が難しいとの声も多い。



【非食品】 **不調** DI: **-13.9**

平年より高い気温の影響で冬物衣料の不振の指摘が多かった。他業態との競合、特にドラッグストアとの競合により不調とのコメントが多く寄せられた。



2014年11月キーワード TOP 3

1. 青果相場安
2. 気温上昇
3. 前月より休日が一日多い(3連休2回)

スーパーマーケット景気動向調査

- 1 1月実績速報版集計 223社
- 1 2月実績確報版集計 209社